



令和5年2月21日

蒲刈中学校だより

発行：呉市立蒲刈中学校
文責：校長 柿林 浩彦

第36号

うみやまサミット

～三次市立三和中学校との交流～

2月10日（金）、「うみやまサミット」を行いました。「うみやまサミット」とは、1年生による三次市立三和（みわ）中学校との交流授業のことです。新型コロナウイルスによる感染がなかった時期は、隔年で互いの学校や地域を実際に訪問していましたが、一昨年度からはリモートでの開催となっています。

1年生は総合的な学習の時間の「ふるさと学習」において、となりのまちである豊島・大崎下島、そして、ふるさとである蒲刈島や下蒲刈島について学んでいます。その学習を活かして、両校の取組やふるさとを紹介したり、生徒同士が交流したりしました。

学校や地域の紹介では、パワーポイントを使い大変分かりやすく発表することができていました。また、交流の場面では、三和中学校と交流するためのレクリエーションを自分たちで考案し運営しました。しっかり準備・工夫していましたが、最初は緊張している様子でしたが、次第にコミュニケーションができるようになり、楽しんでいるようでした。

このように、ふるさとについて自信をもって紹介したり、自分の考えていることを伝えたりする取組は、今後も多く設けていきたいと考えています。

リモートでの開催でしたが、行って良かったと思える「うみやまサミット」になりました。



書き初め大会を行いました

今年度も、1月25日（水）に書き初め大会を行いました。今年度も美術室で学年ごとに行いました。

書き初めには、「一年間の抱負や目標を定めること」、「字の上達を祈願すること」の2つの目的があるそうです。生徒の皆さんは、一年間の抱負や目標を思い描き、一つ一つの文字の筆遣いや字形に注意しながら集中して書いていました。

今年度も、書写の時間は特別非常勤講師の角戸 知子先生から丁寧に指導を受けています。

全員がその成果を発揮して、力強く個性あふれる立派な書き初めをすることができました。当初は、最優秀賞1名、優秀賞2名を予定していましたが、年々レベルが向上しており、優秀賞を4名に変更しました。

そして、厳正な審査の結果、最優秀賞に 岩崎 希風さん、優秀賞に 石原 悠暉くん 篠岡 凜さん、越智 帆海さん、井上 青波くん、が選ばれました。

これからも腕前を上げるよう頑張ってください。



呉ライオンズ文化賞を受賞しました

～第19回広島県中学校創造ものづくり教育フェア生徒作品コンクール広島県代表～

呉ライオンズクラブは、様々な分野で優秀な成績を収めた生徒の皆さんを表彰しています。

今年度は、小寺 颯くんが見事「呉ライオンズ文化賞」を受賞しました。

技術の授業で作成した「いろいろ収納棚」が第19回広島県中学校創造ものづくり教育フェア生徒作品コンクールにおいて広島県代表となり、第22回全国中学校創造ものづくり教育フェアに出品されました。

これからも、ものづくりに興味をもって様々な作品を制作してほしいと思います。おめでとうございます。

